

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
169	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Is Nutrient Intake a gender-specific cause for enhanced susceptibility to Alcohol-Induced Liver Disease in Women? 摂取栄養素は女性のアルコール性肝障害易感受性の原因であるか?	
執筆者	
Sabine Wagnerberger, Chirisitan Shafer, Eveline Schwarz, Christiane Bode, Alexandr Parlesak	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol and Alcoholism 43,9-14,2008	
キーワード	
栄養素、微量栄養素、アルコール性肝障害、性差、罹病感受性	
要旨	
<p>(目的) 女性は男性よりもアルコール性肝障害に対して感受性が強い。食品の好みは性別により異なることがこれまでの研究で明らかにされている。しかし、多量飲酒者については食品の好みは性別により異なるかどうかは明らかでない。動物実験でいくつかの微量栄養素がアルコール性肝障害の進展に影響を及ぼすことが報告されている。本研究では後ろ向き横断研究によりアルコール性肝障害の患者において性別による栄養摂取の違いが女性のアルコール性肝障害に対する易感受性の原因となりえるか検討する。</p> <p>(方法) 210人 (男性158人、女性52人) の様々なアルコール性肝障害ステージ (ALD1 軽度肝障害、ALD2 肝炎を伴う中等度肝障害、ALD3 重度肝障害) の患者と 336人 (男性208人、女性128人) を対象に、性別によりコンピューターによる栄養調査から求めた栄養摂取とアルコール性肝障害の関連について検討した。</p> <p>(結果) 蛋白、炭水化物、脂肪や大半の微量栄養素の一日あたり体重一キログラムあたりの摂取量はアルコール性肝障害の男女に差を認めなかった。女性の肝障害患者では ALD3 でビタミンが、ALD2 でカルシウムが、ALD1 と ALD2 で鉄が、ALD1 で亜鉛の摂取が多かったがこれらの栄養素は女性のアルコール性肝障害の易感受性に影響を及ぼしていなかった。</p> <p>(結論) 今回の検討で女性でアルコール性肝障害の感受性が高いことが確認できたが、日常の栄養素ならびに微量栄養素摂取データからはアルコール性肝障害の進展に性別による栄養摂取の違いが影響を及ぼしているとは明示できなかった。</p>	